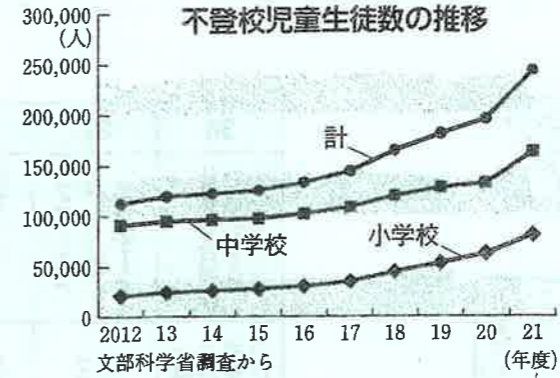




# 不登校 最多24万人

教育のつどい 保健室分科会  
 <11月5日 8名参加>  
 アンケートについて話し合いました。  
 主な内容・意見を載せます。



増えつつける不登校。その背景に何があるのか、埼玉大学教育学部の馬場久志教授(教育心理学)に聞きました。(小林圭子)



埼玉大学教育学部教授 馬場久志さん

## 競争的教育が背景に

最大の背景は競争的な教育です。学校が進学や就労のために子どもの「品質管理」をする役割を担い、子どもたちを競わせ追い込む構造が長年変わっていません。新自由主義のもと自己責任がはびこるなかで、失敗が許されないような状況が広がり、子どもの失敗が教師の指導の問題とされ、教師も失敗を許容できなくなっています。

詰め込みの問題もあります。多くの自治体で国が定める標準授業時数を超える授業が行われています。一日の授業数が多いというえ、さらに足りない分は夏休みなどを削って補っているのが現実で

県教委に要請していくこと ← 今までも何度か要請してきましたが、さらに続けていきます。

1. 修学旅行等の宿泊を伴う引率については、お本人に打診をすること
2. 中体連の救護については、専門的なスタッフを配置すること
3. 産休・病休等の講師をきちんと配置し、安心して休めるようにすること
4. 支援チームを作って、学校で要請した時に補助に入ってほしい
  - ・退職者等が登録しておく
  - ・フルタイムでなくて良い

### 助言者から

コロナの対応で養教の仕事がどう変化し、子どもたちがどう変化したのか検証しておくことが大事

### どう安心できる場にするか

しんぶん赤旗 2022年10月28日

日本の教師は他国に比べ授業以外の労働時間が長すぎます。教師の多忙さを子どもや保護者も知っており、「先生に心配や迷惑をかけてはいけない」と、相談できなかった」という不登校の親子の声を聞きます。

SNSの影響も大きいと思います。子どもたちは家に帰っても友人とつながっているため、常時スイッチ「オン」の状態を張って疲れていきます。

文部科学省は6月、不登校に関する調査研究の報告書を公表しました。同報告書では、不登校になった後の学校以外の行き先に重点が置かれ、肝心の学校を「どう子どもが安心できる場所にするか」という論点は手つかずのままです。これでは不登校が生じる構造的問題の解決への道筋が見えてきません。

学校の改革は、何より教師を増やし少人数学級をすすめることです。少人数学級にすることで学習のすすみがスムーズになった現場を見ました。学校は人と人の営みです。心が通い合う居心地のよい環境こそが、子どもと教師どちらにも大切です。

不登校当事者を孤立させない支援も必要です。「親の会」など保護者同士がつながれる機会をつくる学校や行政も出てきています。「親が悲しむ顔を見るとつらい」と罪悪感を抱く子どもにも、親が明るい顔を取り戻すことも大事なことです。

10月28日に『不登校最多』のニュースが一斉に新聞に載り、TVでも報道されました。でもどのコメントも「コロナの影響」が前面に出て、本質に角触れていないなあと思っていました。その中で上掲の記事を読んだ時「これだ!」と思いました。学校が度わらなければなりません。

子どもたちが行きたい学校になっているでしょうか  
 子どもたちが会いたいと思う教師に抱かれているでしょうか  
 子ども自身、親・家族・友人の問題もあるでしょうか、学校に勤務している者は学校をまず考えなくては...

スマイルサポート 阿部陽子

・宿泊行事等で養教が引率しない時は、引率する救護担当者と綿密に打ち合わせをする

久しぶりに顔を合わせて討論ができとてもうれしかったです。「集れば元気!」です。

### 折々ことば

鷲田清一 2548

子どもの「子ども時代」を保障する。おとなが子どものためにできることは、それだけであるのではないか。

田嶋正雄

貧困は子どもを子どものままではくなく、自分にかかるお金、自分が使えるお金を考えると、何かに目をむき、何かを見切つて生きるほかにない。だから子どもが何かに没頭している姿を撮る時、ふと折るような思いがこみ上げると、沖縄タイムス写真部の記者は言う。上間陽子他編『復帰50年 沖縄子ども白書2022』から。

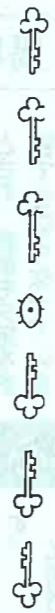
### その他の意見

- ・困った時など自分から声を発することも必要。働きやすい環境を誰かに作ってもらうのではなく、自分で作っていくという心構えを持つ。そのためには校内の仲間づくりを大切にする。自分から話しかけたり相談したりする
- ・前任者or同じ地区の養護教諭の誰に相談すれば良いのかをつかんでおく
- ・養教不在時のマニュアルを作り、4月の職員会議で先生方に提案しておく

# 「キッパリ」

どれだけ定着したか  
チェックしてみよう

おてんき  
てんきII  
RANKO  
(1594)



No.	項目	一級(茶帯)	初段(黒帯)	師範(紅白帯)
38	仕事の合間にのびをする。	「何飲む?」の問いに「水でいいよ」が水がいいよになる。 	常にも500ミリリットルの水のペットボトルを持ち歩いている。 	常にも2000ミリリットルのペットボトルを持ち歩いている。 
37	ファーストフードは卒業する。	つきあいでは行くけれど、自分からは行かない。	新製品のCMがテレビで流れても、心が動かない。	道案内の目印の時のみ、使う。
36	キレイな水を、一日2リットル飲む。	「何飲む?」の問いに「水でいいよ」が水がいいよになる。 	常にも500ミリリットルの水のペットボトルを持ち歩いている。 	常にも2000ミリリットルのペットボトルを持ち歩いている。 
35	姿勢をよくする。	姿勢の悪い人が気になる。	椅子の背もたれに、もたれなくなる。	身長が高くなる。
34	鏡の前で5分間笑う。	どんな時も鏡を見たら、「笑ってみようかな」と思う。	どんな時も鏡を見たら、反射的に笑う。	どんな時も鏡を見る前から笑っている。

●カラダから、外見から、変えてみる!

項目	28	29	30	31	32	33
1級(茶帯)	「ありがとう」と言う。 ほぼ毎日、一日10回	満月を見て、自分なりに「何に見えるか」見解を出す。 	時々使ってしまう。	ひとり部屋にこもって、誰にも見られないようにして描く。 	耳についたCMソングを口ずさむ。	「今日はずいいてる」と思う。
初段(黒帯)	「ありがとう」と言う。 ほぼ毎日、一日20回	巻き貝の中の海の音を聞いてみる。 	ほとんど使わない。	人目につくところでも描ける。 	昔、自分の好きだったアーティストの曲を口ずさむ。	「最近づいいてる」と思う。
師範(赤白帯)	「ありがとう星人」というあだ名がつく。	迷信を試してみる。 	そのコトバの存在すら忘れる。	わざわざ人前で描く。 	最新のヒットナンバーを、ダンスつきで。	「自分がツキを呼んでいる」と思う。

上大岡トX 幻冬舎